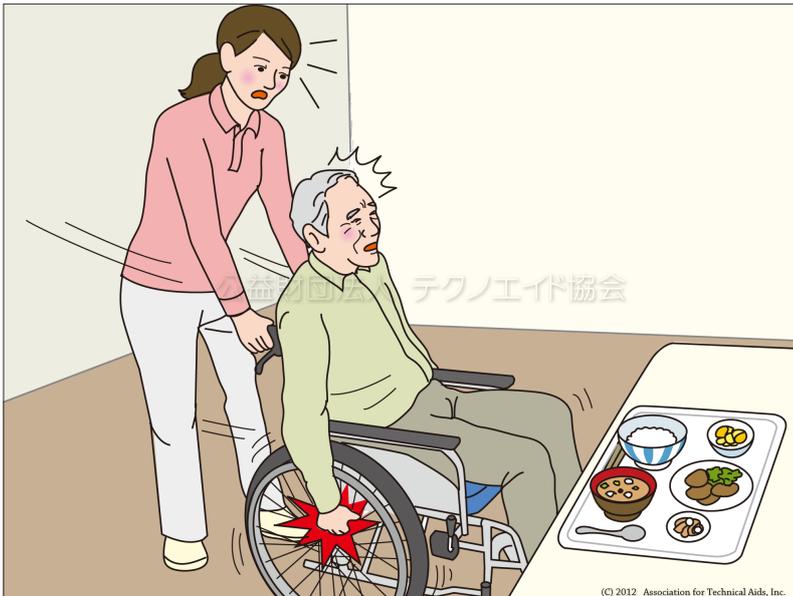


Case : 139

タイヤに指が入っていることに気づかず操作したため、ケガをしそうになる

## 場面の説明

利用者の腕が下がり、指がタイヤのスポーク内に入っていることに気づかず車いすを操作してしまった



利用シーン  移動

主な利用場所  リビング・居間  
 ダイニング・食堂  
 廊下

介護保険の種目  車いす

分類コード (CCTA95) 122103(介助用車いす)

介護テクノロジー -

二次元バーコード



## 解説

車いすの後ろに立つと死角となり見えづらい箇所があり、利用者の腕や手の位置も見えづらい場合があります。腕はアームサポートや膝の上に置くことを基本として、移動前に確認することを習慣づけることが大切です。また、走行中の振動などで腕が落ちてしまうこともあります。タイヤに巻き込まれたり脱臼したりという危険があります。頻繁にある場合には放置せず、クッションなどで腕を保持するなどの工夫をしましょう。

## 参考要因

- 人：死角になっている箇所に注意がいかなかった
- 人：急いでおり、目視で確認するのを怠った
- モノ：アームサポートの高さが利用者と合っていなかった